

こ だ ま

「学び合い」の授業が公開されました

さる、11月21日(木)に、人権教育研究発表会が本校で開かれました。東中は、栃木市教育委員会から、平成24・25年度の2年間にわたり、人権教育研究校の指定を受け、研究を進めてきました。当日は、市内の先生方をはじめ、多数の方が出席され、「無言清掃」から授業まで、東中生のようすを見ていただきました。1年生は、1組「音楽」、2組「社会」、3組「道徳」、4組「理科」の授業を公開しました。その中で、**自分の考えを堂々と発表したり、友達の意見を参考にしたりして、よりよい考えを導こうとする様子がたくさん見られました。**

さて、出席された先生方からは、「聴く」態度が素晴らしいとほめていただきました。学年としても4月から、「聴く」態度をしっかりと身に付けていこうと取り組んできましたが、その努力が認められたことは、とても喜ばしいものです。人の意見を、耳と目と心で聴くことは、相手を尊重することにつながり、やがては、自分自身が尊重されることにつながります。

これからも、「学び合い」を通して自他の考えを大切にするとともに、聴く態度の徹底をみんなで目指していきましょう。

みなさんに薦めたい、先生方からの一冊

「現代の若者は本を読まない!」と、世間ではよく言われていますが、東中では、毎朝、読書から1日が始まります。落ち着いた雰囲気の中で、授業になります。

また、図書委員会を中心に、1人が、1か月に、1冊以上読書する「1・1・1読書運動」を実施しています。クラス全員が達成すると、クラスの努力と協力性に対して表彰されます。4月から連続して表彰されているクラスも、いくつかあります。

さて、読書週間にちなみ、先生方からみなさんに対して、是非読んでほしい本が紹介されています。年齢を重ねるに従って、読みたいと思う本や、読むべき本も変わってきますが、自分の考えや人生に、少しでも良い影響を与える本に出会えた人は、幸せだと思います。まずは、図書室や本屋さんに行ってみましょう。